

社報

# 高忍さま

発行日  
平成26年  
11月1日  
発行者  
高忍日賣神社

ホームページ  
<http://www.takaoshihime.jp/>  
Facebook  
[www.facebook.com/takaoshihime](http://www.facebook.com/takaoshihime)

巻頭言

## 例大祭

宮司 後藤 正宜

今年の例大祭は宵宮の十月十三日が、台風十九号四国再上陸とあって、恒例の奉納獅子舞が中止となつてしまいました。しかし、十五日は好天に恵まれ、素晴らしい神輿渡御が出来ました。これはひとえに氏子の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

例大祭は、一般に秋祭りと呼ばれ、一年の内の最大のお祭です。お祭には、獅子舞や御神輿の渡御などが行われます。そして、氏子のほとんどの人々がお祭に参加し、五穀豊穡や、地域や家の弥栄を祝うとともに、神様に感謝申し上げ、これからの御加護あらんことをお祈りします。神様も、人々のそのような素直な笑顔を喜びになられていることでしょう。そして、明日への生きる力も与えて頂けます。また、昔から脈々と続いているお祭は、地域の誇りでもあります。

振り返ってみれば、戦後、何事も科学的に合理的に生活することが理想とされ、利便性や経済性を追い求めて来たように思います。日本は今、地方が痩せ細り、過疎どころか祖先・先人たちが努力して築き上げてきた社会そのものが消えかかっているのです。地域の担い手である我々おとなは、祖先から受け継いできた歴史・文化や心などの大切なものを子どもたちに伝えていく責務があります。お祭は、みんなが力を合わせることでそれは成し遂げられます。獅子舞は、頭、尾、太鼓、世話人、観衆が揃って命が吹き込まれます。御神輿は、神様、担き手、総代、世話人、神職、氏子、観衆が揃ってあの力強さや笑顔や祈る姿があるのです。我々の歴史ある心豊かな故郷を、これからも大切に育てて行こうではありませんか。



歓声が上がる中で  
宮入を迎えた(徳丸)

## 秋祭り盛大に行われる

■台風19号で宵宮祭獅子舞中止も翌日祭典は厳粛に執り行われる  
今年も十月十三日〜十五日にかけて行われた例大祭(秋祭り)も無事執り納めることが出来ました。

十三日は台風19号の接近で宵宮祭の奉納獅子舞が中止となりましたが、翌十四日の例大祭の祭典は穏やかな天気となり、総代・区長はじめ氏子内外からもご参列いただき、巫女による鈴神楽の奉納もあり、祭典は厳粛に斎行されました。



鈴神楽奉納。巫女は今年より大  
間が一人増え、6名での新嘗祭  
でも奉納される。

■神輿渡御は秋晴れのもと賑わう  
十五日の神輿渡御も穏やかな秋晴れとなり、午前六時に宮出し、その後御旅所まで猿田彦命の先導のもと、各地区の神輿が行列を組んで参進しました。  
御旅所では神事の中で鈴神楽の奉納も行われ、厳粛に斎行されました。



御旅所まで行列を組んで巡幸する神輿。猿田彦が先導し、御羽車や神輿は勿論、神職・総代はじめ全員が行列をなして進む姿は圧巻。



御旅所での神事。各大字の神輿と御羽車(おはぐるま)が並ぶ。丁度朝日が差す頃で、神輿が光り輝く姿は幻想的である。御旅所神事が終わるといよいよ各大字にて巡幸が始まる。

御旅所神事の後は、神輿は各地区へとわかれ、巡幸が行われました。平日ではありましたが大勢の方にご参加いただき、大変賑やかに、そして和やかで楽しい祭りになりました。事故もなく、大変良い雰囲気の中で無事執り納めることが出来ましたこと、皆様に心より厚く御礼を申し上げます。  
来年の一体は中川原です。来年も素晴らしいお祭りになりますよう、ご協力宜しくお願い申し上げます。

# 新嘗祭のお知らせ

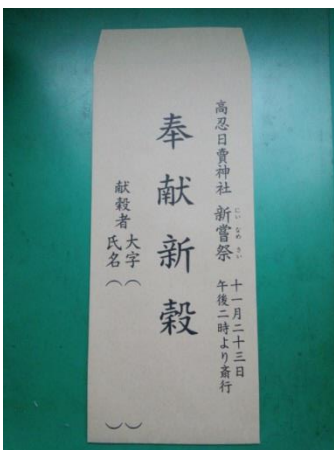
◎祭典…十一月二十三日

(日・勤労感謝の日)午後二時

高忍日賣神社にて斎行

今年も新嘗祭を右記の日に執り行います。このお祭りは古代より全国で執り行われ、豊かな実りに感謝する重要なお祭りです。当社でも、氏子の皆様から献上されたお米をお供えし、神様に御覧いただくことにより、豊穰感謝とこれからの益々の発展を祈念いたします。

なお、当日の祭典では鈴神楽の奉納があります。ご参列は自由です。皆様ぜひご参列いただき、五穀豊穰の感謝御礼と、これからの弥栄をご祈念いたしましょう。



農家の皆様にお配りする献穀袋。毎年新嘗祭において新穀を神前に御供いただいたいます。新穀を御供えすることによって、神様に豊穰の感謝と今後の豊作、弥栄を祈念します。

## 「コラム」

### 「新嘗祭」と「勤労感謝の日」について

新嘗祭は、先述したように毎年十一月二十三日の勤労感謝の日行われます。宮中では、天皇陛下がその年の新穀を神々に御親供なされます。

戦後、新嘗祭の日は「勤労感謝の日」と改称され、勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう日として国民の祝日となりましたが、本来の意味からすると、単なる勤労や生産に対する感謝の日と意味が違います。

新嘗祭の起源は、『日本書紀』によると、高天原で育てられていた穀物の種を、天孫降臨の際に天照大御神より授かり、葦原中津国(日本)のことで栽培されたことに遡り、これが我が国における農業の事始めとなりました。

この御神恩に対する感謝の祭りとして、天皇陛下御自ら、五穀豊穰を神々に奉告されるのが新嘗祭で、これに倣って当神社をはじめ全国の神社においても古くより執り行われていきます。参考文献：神道いろは(神社とまつりの基礎知識) (神社本庁教学研究所監修)

# 七五三まわり

「ご祈願受付中です」



## ◎今年の七五三該当年齢

三歳 男女

…平成二十四年生まれ

五歳 男

…平成二十二年生まれ

七歳 女

…平成二十年生まれ

※満年齢でも七五三の祈願はできますので、受付の際その旨お申し出下さい。

今年も七五三の時期となり、お参りをされる方も次第に増えてくる頃となりました。社報前号でもお知らせした通り、高忍日賣神社でも七五三の祈願祭を承っております。満年齢でご希望の方もできますので、受付予約の際にその旨お申し

出下さい。七五三のご祈願を受けられた方には、お守り、絵馬、千歳飴、記念品等を授与いたしております。すでに申込をされている方も多くなつてきていますが、ご祈願は予約の方優先で時間をおとりしていただきます。ご予約の方は繁忙時を除き基本的に一組ずつお時間をお取り致しますので、ご希望の方はお早めに左記までご予約ください。よろしくお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは：  
高忍日賣神社社務所  
電話 ○八九一九八四―八二二二  
までお願いします



七五三のご祈願を受けられた方には、お守り・千歳飴・記念品等を授与致します

←3ページ(2枚目)に続きます。

ご家庭でおふだ（「神宮大  
麻」と「高忍日賣神社大麻」）  
をおまつりしましょう

来月には各家庭に新しいおふだが届きます。各世帯で必ずおまつりしましょう！



神宮大麻(右)と  
高忍日賣神社大麻(左)

◎神宮大麻と高忍日賣神社大麻  
について

毎年末、氏神様である高忍日賣神社の大麻（おふだ）と、「天照皇大神宮」と書かれた伊勢神宮のおふだである神宮大麻（おほらいさま）が各家庭に頒布されています。

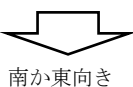
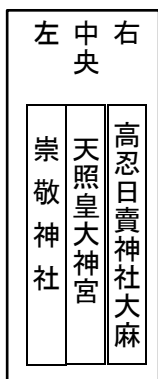
伊勢の神宮は、天照大御神（あまてらすおおみかみ）をお祀りする神社で、氏神様である高忍日賣神社の大神様がこの地域をおまもりになつている神様であるなら、神宮は日本全国を守護する総氏神様なのです。

ご家庭でおふだをお祀りするときには、氏神様のおふだ（この地域は高忍日賣神社）とともに、全国の総氏神様である伊勢の神宮のおふ

だ（おほらいさま）を共にお祀りすることが広く一般的であり、全国共通のお祀りのしかたです。

さて、「大麻」という名称は、神社でお祓いを受ける際に用いられる大麻（おおぬさ）からきたものであり、その昔大麻を頒布していた伊勢神宮の大麻を全国に頒布していた御師（おし・おんし）の間でも「御祓」（おほらい）や「お祓いさん」といった通称が用いられたことなどから、御神前に進む際の参拝者の気持ちを表したことを考えられます。現在でも神宮大麻のことを「おほらいさま」と呼ばれる理由もそれに因んでいます。

◎おふだのおまつりのしかた



南か東向き

おふだは、三体ある場合には右図のようにおまつりします。他の神社のお札を受ける際に、「神様同士がけんかをする」ということを言われる方もいますが、そのようなことはありません。他の神社のお札は「崇敬神社」のところに祀りますので、受けてきても全く問題ありません。お札をお祀りする方は、南か東向き字が書かれている面が南か東を向くのがよいといわれています。

◎毎年おふだやお守り等を  
新しくかえる理由

神棚は年末の内に掃除して、新たに受けたお札をお祀りして新年を迎えます。

年の区切りにあたるこの時期に、あたらしいおふだを受けるとにより、重ねて御霊力・御神威を戴き、新しい年の無事と繁栄を祈ります。それまでお祀りした古いお札は、過去一年の無事を感じて神社にお参りし、境内の「古札納箱」へお納めください。毎年一月十五日には「どんど焼き」をおこない、お焚きあげをします。

なお、身内が亡くなった場合、忌の期間中は神社への参拝を遠慮しますが、家庭の神棚のおまつりも一時的に中止し、神棚の前に半紙を貼ります。

この期間は近親者でも五十日が最長で、一般的に忌明けとされています。お札は毎年新たなお札に換えるのが本義です。年末年始が忌の間に重なる場合は忌明けの後に神社の授与所にて頒布していますので、新しいお札にかえておまつりしてください。

参考文献：「神道いろは―神社とまつりの基礎知識―」神社本庁教学研究所監修

高忍の杜だより  
（祭事・行事のご報告）

屋敷神祭（やぶがみさま）

毎年この時期に、各家の屋敷神様（やぶがみさま）のおまつりにまわつておりますが、今年は十月二十六日（日）に、各家庭にお伺いしておまつりを致しました。

屋敷神様とは、その屋敷と深い関わりをもった神様で、若宮と呼ばれる地方もあります。

いつも屋敷と家族を守つてくださる神様ですが、祭りをおろそかにすると祟る神様といわれています。少なくとも毎年一回はお祭りをしましょう。忌が明ければ（最長五十日）おまつりできますので、当日おまつりできなかった方や、これからされたい方は、日を改めてお伺いすることもできますので、ご相談下さい。

祝祭日には国旗を掲げましょう  
十一月・十二月の祝日

文化の日：十一月三日

勤労感謝の日：十一月二十三日

天皇誕生日：十二月二十三日

（月・明治節）  
（日・新嘗祭）  
（火・天長節）

### ☆お知らせ☆ 淳心館 奉納演武

「合」は「愛」に通じます！  
日時：十二月七日(日) 午前10時～  
於…高忍日賣神社拝殿

平成十七年より毎年、合気道の奉納演武をされている淳心館の皆様が、今年も十二月七日(日) 午前10時より、高忍日賣神社拝殿にて奉納される予定です。

成人にまじって、子どもたちも堂々とした演武を見せてくれます。礼を重んじ、身を律する合気道の技の数々：当日の観覧は自由ですので、多くの方に是非御覧いただきたいと思えます！

### ご奉仕感謝いたします！ みことの会清掃奉仕

毎月第二金曜日の朝を中心に、「みことの会」の皆様が神社にて活動をされる前に、境内の清掃奉仕を行っていただいております。

十月も第二金曜日である十日に清掃奉仕活動を行っていただきました。ちょうど例大祭前のご奉仕いだいて境内が掃き清められ、神様も大変およろこびになったことと思います。今後も毎月第二金曜日を中心に清掃奉仕を行っていただけたらと思います。

神域は常に清浄を保たなければ

なりません。しかし、毎日境内の隅々までそれを維持することは現状ではなかなか難しい状況です。そのような中、「みことの会」の皆様による清掃奉仕は大変ありがたいことです。心より厚く御礼を申し上げます。



「みことの会」の皆様による清掃奉仕。毎月の地道なご奉仕に感謝します(写真は9月の奉仕)

### 縁結び守りがTOKIOのライブで紹介されました！

九月二十四日、境内神社「夷子神社」例祭の準備をしていたところ、朝から大きなスーツケースを持った方が続々訪れ、縁結び守りを受けていきました。最初は事情が全く分からなかったのですが、参拝の方を尋ねると、どうやら前日に松山市民会館にて行われた、人気アイドルグループ「TOKIO」のライブの中で、当神社の縁結び守りがファンへのプレゼントの一つとして紹介されたようです。

### 「縁結び守り」・「むすびみくじ」授与再開のお知らせ

当神社で頒布しております「縁結び守り」と「むすびみくじ」が全て授与終了となっていました。この度調製が済み、十月二十三日より授与所にて頒布出来るようになりましたので、ご報告申し上げます。期間中授与ご希望で参拝にいられた皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますと共に、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



↑縁結び守り



↑むすびみくじ

### ◇各種社頭祈願 出張祭・結婚式 承っております◇

高忍日賣神社では、安産・初宮詣・厄除け・子授け・交通安全(新車祓)等の社頭各種祈願、地鎮祭・新宅祭、霊祭(みたままつり)・神葬祭等、各種出張祈願祭も承っております。  
また、高忍日賣神社の御神前にて執り行う結婚式も承っております。  
詳細やご相談・お申し込みは社務所(電話〇八九一九八四一八二二二)までお願いします。

### 十一月のこよみ

◎神社の予定◎  
七五三(随時予約受付中)  
23日(日)・勤労感謝の日(午後2時)

新嘗祭(於…高忍日賣神社社殿)

### ☆縁起のよい日☆

〈大安〉：1日(土)、7日(金)、13日(木)、19日(水)、23日(日)・勤労感謝の日、29日(土)  
〈友引〉：4日(火)、10日(月)、16日(日)、26日(水)

《戌の日》(安産祈願・腹帯を巻くのにふさわしいとされる日)  
11日(火・先負)、23日(日・大安)

### 十二月のこよみ

◎神社の予定◎  
7日(日) 午前10時～  
淳心館奉納演武

(於…高忍日賣神社拝殿)  
下旬 すす払い、正月飾り等準備  
31日(水) 11月1日  
各種神事(詳細は次号でお知らせします)

### ☆縁起のよい日☆

〈大安〉：5日(金)、11日(木)、17日(水)、22日(月)、28日(日)  
〈友引〉：2日(火)、8日(月)、14日(日)、20日(土)、25日(木)  
31日(水)  
《戌の日》：5日(金・大安)、17日(水・大安)、29日(月・赤口)